

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	北名古屋市児童発達支援事業所ひまわり園		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月4日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育において専門知識の高い療育アドバイザーが常勤しているため、利用親子の対応に対して相談しアドバイスをもらうことで、職員の支援の資質向上に繋がる。	個別支援会議や朝の打合せなどにおいて、それぞれ親子の状況を踏まえながら対応を職員間で共有しながらおこなっている。	園内研修として、療育アドバイザーを中心に、事例検討などを行っていく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	親子療育において2歳児～5歳児のと一緒に療育している為、それぞれの成長段階でどうしても差が出てしまい主活動の進め方や職員の対応の仕方など計画を立てていく上での難しさがある。	2歳児～5歳児と在籍している園児に幅がある。年齢でクラス分けしていないので、制作など全体に向けて知らせていくのに難しさを感じている。	職員会議でそれぞれの発達段階において、今どの支援が必要かをはっきりさせ、職員同士が状況を共有できるようにし、個々に対応していく。
2			
3			